



宮田 勝美 議員

一問一答方式

# 人口減少、少子化の対応は

**市長** 効果が早期に表れないが、続けることが重要

**問** 遠野市人口ビジョンの現在の状況は。

**答(市長)** 10年前倒して少子化が進んでいる。全国で同様の状況にある。

**問** 少子化対策、子育て支援事業の現状と効果は。

**答(市長)** 答えはすぐに出ないが、諦めずに続けることが結果につながる。

**問** 生活関連サービスの現状認識は。

**答(市長)** 進めている政策を一生懸命やっていくことが重要と考える。

**問** 税収減による行政サービスの水準低下については。

**答(市長)** バランスの良い財政をつくる必要がある。

**問** 地域公共交通については。

**答(市長)** 現在のシステムを維持しつつも、新たなシステムを考え、ダブルスタンダードで走りながら切り替える方法を考えている。

**問** 関係人口の認識と今後については。

**答(市長)** 交流の種をまき確実に関係人口を増やしたいと思っている。

# 子育て世帯の公園等に関するアンケート調査結果について

**市長** 有意義な調査で重く受け止めている

**問** 現在ある公園の整備統合について。

**答(市長)** 地域との話し合いをして、ご理解いただき整備統合して新たな活用に向けていく。

**問** どのような手順で進めて行くのか。

**答(市長)** 各公園の現状を、調

査し、地域との協議をして、あまり時間をかけずに進めて行く。

**問** 今年度の公園等に係る事業について。

**答(市長)** 運動公園内のわんぱく広場に3歳未満の幼児対象の遊具の設置や、四阿などの増設を計画している。また、とぴあセントラルコートに遠野産材を活用した木製遊具を

設置予定、この設計費等を計上している。その後、宮守地域活性化センターにも計画している。



菊池 浩士 議員

一問一答方式

# 空き家等リノベーション推進の手順は

**市長** 一般財団法人TRCにより空き物件を前向きに活用していく

**問** 対象となりえる物件を持つ市民は、どのような手順で何をすればよいか。

**答(市長)** まず、で・くらす遠野に登録してもらい、物件数を増やしていただき、売りたいとか、貸したいとかの情報を充実させていただきたい。

**問** 一般財団法人TRCは、空き家問題を解決してくれる財団なのか。

**答(市長)** 何年も放置された物件の所有者の方々は、自分の管理責任として解体していただくことは必要。相談していただくことは、やぶさかではない。



元酒屋をリノベーションし店舗兼ビール醸造所として活用している市内の事例

**問** この事業に対する市長の思いは。

**答(市長)** 今まででも空き家対策事業は取り組んできたが、思うようにはいかなかった。どうすれば活性化されるか、目的を達成できるか、達成しやすい方法を考えている。これが私の役割だと考えている。他の事業と同様に淡々と進めて行く。

# 空き家等リノベーション推進事業を問う

**市長** 本格的な空き家対策の事業と位置付けている



人口減少がすすみ、空き家が増加している遠野市内

**問** 事業の具体的な内容は。

**答(市長)** これまで対応出来なかった状況にも柔軟に対応していきけるようにこの事業を考えた。

**問** リノベーションする物件の選定基準はあるか。

**答(市長)** 建物の程度、エリア、物件の利用価値等が基

準と考える。

**問** 事業目標、計画、収支は策定されているか。

**答(市長)** 賃貸、売買によって収支は変わる。その都度収支を立て1件ごとに対応する。

**問** 今後予想される問題点や課題はあるか。

**答(市長)** 物件により、事情が入り組んでいるので、それぞれの対応が課題と思われる。

**問** 空き家を減らす工夫や住宅政策の見直しなど考えはあるか。

**答(市長)** 空き家を管理する個人の責任や行動が必要。柔らかな区画整理も駆使しながら進める。

